

## 堂崎港埋立地の利活用に関するサウンディング型市場調査の対話結果について

令和2年1月31日

南島原市長 松本 政博

### 1. サウンディング実施の経緯

県により埋立工事が進められている堂崎港埋立地について、民間事業者の参入意欲やアイデア、ニーズ等を把握しながら、より良い利活用のあり方を検討していくためにサウンディング（官民対話）を実施しました。

（対象用地）

所在地：南島原市有家町大苑

面積：約221,000㎡

現況：更地（埋立工事中）

### 2. サウンディングの実施スケジュール

令和元年11月1日 サウンディング実施要領の公表

12月26日 サウンディングの実施

令和2年1月31日 サウンディング結果概要の公表

### 3. サウンディングの参加者

複合サービス事業：1者

合計：1者

### 4. サウンディング結果の概要

提案者の業種	複合サービス事業
提案の内容	施設及び駐車場を整備し、地場産業の拠点として活用する。
事業方式	自己資金による土地購入及び施設整備
事業内容	施設整備：集出荷施設、事務所、店舗、倉庫、寄宿舍等の建設を計画している 雇用見込：50人の新規雇用を見込んでいる
土地利用の希望	面積：5ha程度を必要とする 時期：できるだけ早期（令和3年度まで）の土地取得を希望 土地取得：購入を希望 位置：早期に土地取得できればどこでもいい
環境整備の希望	道路：10t車が離合できる幅員を希望

## 5. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングでは、土地利用や環境整備等について具体的なご提案をいただきました。結果的に応募は1者にとどまり、部分利用としての提案ではありましたが、提案の方向性は本市の考えと一致するものであり、前向きに検討できるような内容でした。

今後は、サウンディングの結果を踏まえつつ、長崎県（島原振興局）とも調整を図りながら、堂崎港埋立地の利活用検討を進めてまいります。